

◆ 今週のコメント

- ・ 感染性胃腸炎の定点当たり報告数は6.32で、過去5年平均値(6.08)を上回っています。第1週以降緩やかな増加傾向となっています。年齢階級別にみると、1歳(22.0%)が最も多くなっています。
- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎の定点当たり報告数は0.83で、先週(0.63)と比べて多く、過去5年平均値(0.58)を上回っています。
- ・ 百日咳の報告が3例(0ヶ月～5ヶ月, 6ヶ月～11ヶ月, 1歳)です。本年の累積報告数は11例で、過去7年間(平成12年～平成18年)の同時期の累積報告数1～9例と比べて最も多くなっています。また、過去7年間の年報告数は17～39例です。本疾患では、母親からの免疫(経胎盤移行抗体)が期待できないため、乳児期早期から罹患し、1歳未満では重症になりやすいため、生後3ヶ月から定期の予防接種[三種混合DPT(ジフテリア・百日咳・破傷風)ワクチン]を実施しています。
- ・ ジアルジア症の報告が1例で、本年初めての報告です。消化管寄生虫鞭毛虫の一種であるジアルジア原虫感染によって引き起こされる下痢性疾患で、平成18年にも1例報告があります。

◆ 今週のトピックス:〈麻しん〉

- ・ 麻しんの報告はありませんが、全国では、埼玉県、東京都などの関東圏において小児、成人とも流行しており、東海、近畿圏においても流行のきざしがあります。詳細はトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・ 二類:結核 17例(肺結核 11例, その他 6例)(第14・15週追加分含む)
- ・ 三類:腸管出血性大腸菌感染症(O157 VT2) 1例
- ・ 五類:ジアルジア症 1例

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	1.81	123
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	6.32	259
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.83	34
	③ 水痘	0.61	25
	④ 突発性発しん	0.37	15
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.22	9
眼科	流行性角結膜炎	0.50	5

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
ムンプスウイルス(1)	無菌性髄膜炎(第13週)	ノロウイルスGII(1)	感染性胃腸炎(第13週)
ヘルペスウイルス1型(1)	かぜ症候群(第13週)		

【次ページ以降の主な内容】

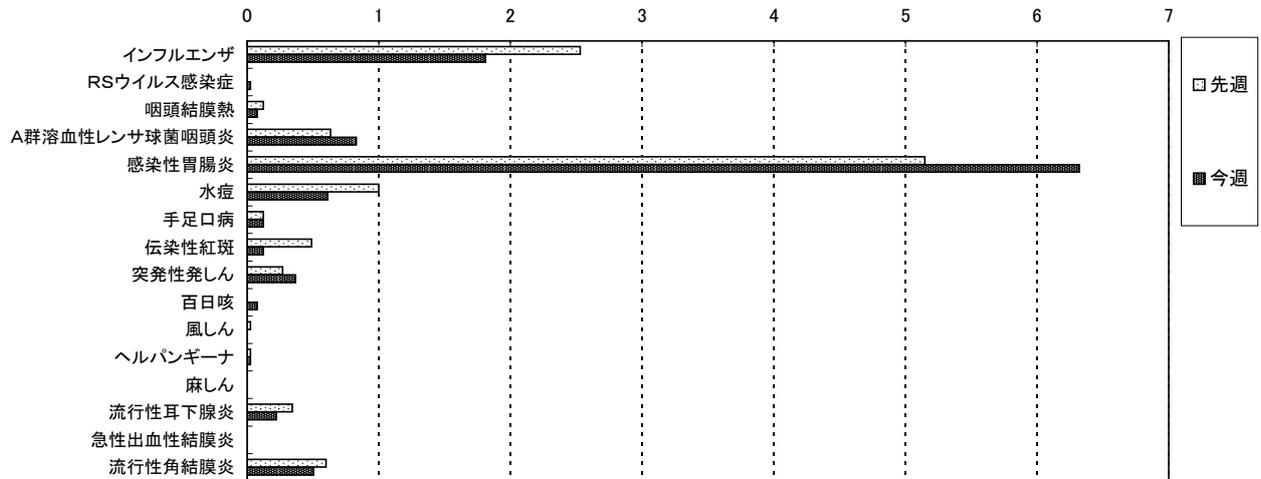
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:〈麻しん〉

付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

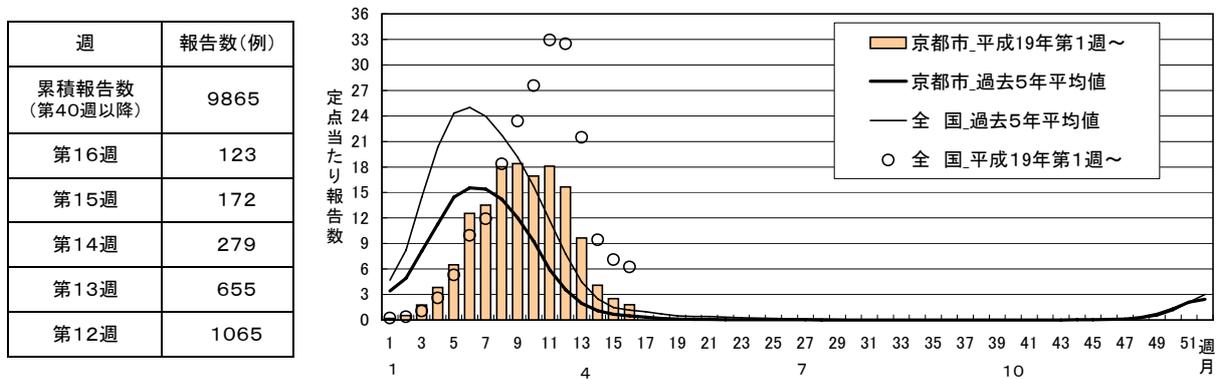
(注) 京都市のデータは:平成19年5月7日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第16週)と先週(第15週)の定点当たり報告数の比較

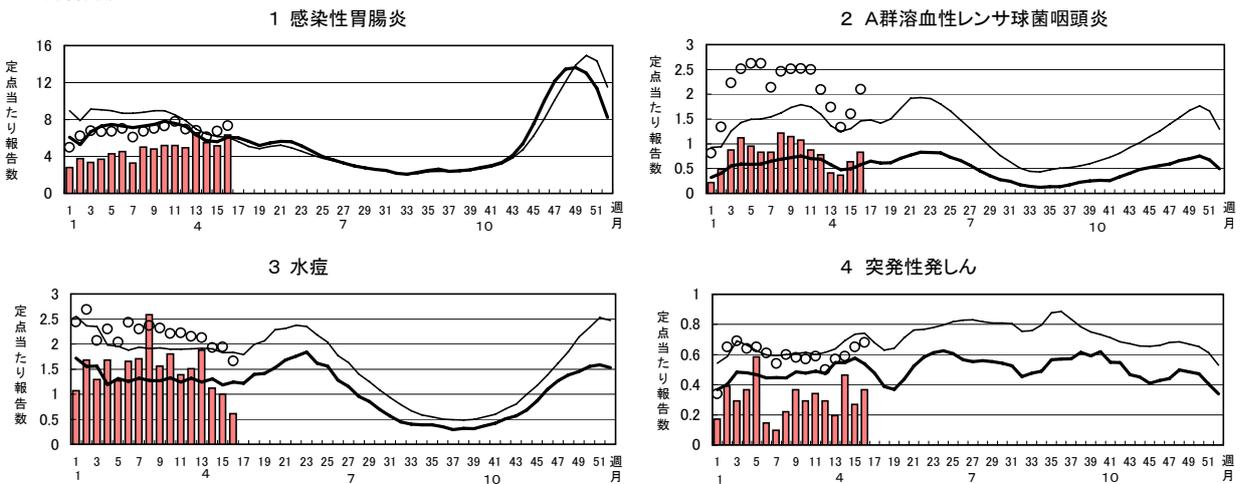


2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

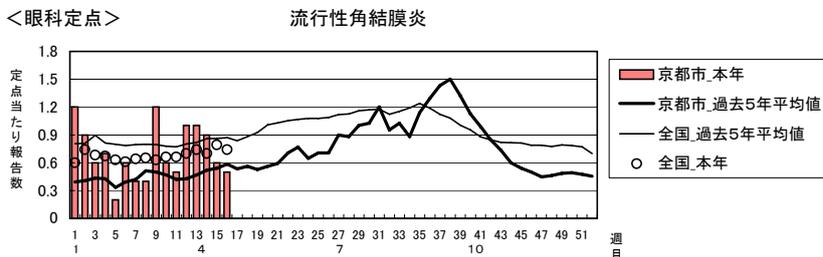


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第16週)のトピックス:〈麻しん〉

本年の京都市での報告はありませんが、全国では、埼玉県、東京都などの関東圏において小児、成人とも流行しており、東海、近畿圏においても流行のきざしがあります。

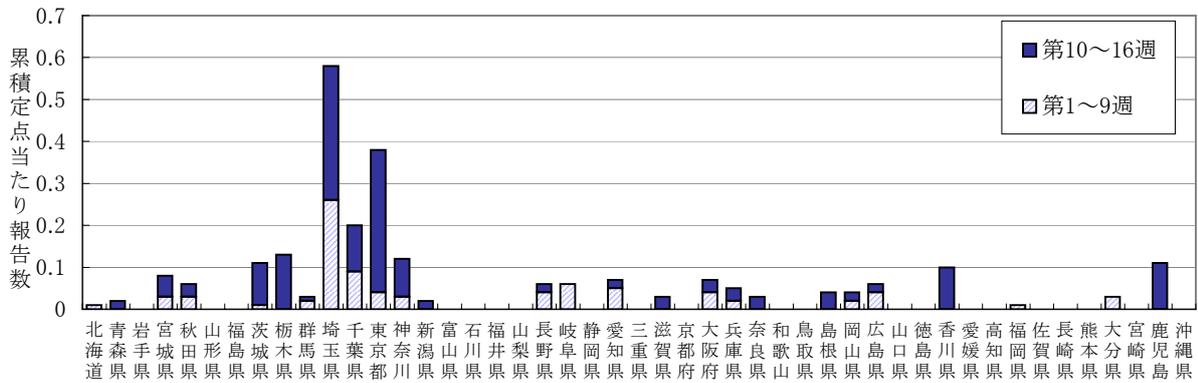
本年の全国での累積報告数の年齢群別では、依然として、0～1歳での割合(32.6%)が多いものの、昨年に比べ、特に10～14歳を中心とした比較的年長者での報告が多くなっています。また、成人麻しん(15歳以上)の累積数も、昨年(年:40例、同時期累積:7例)に比べ、102例と大幅に多くなっています。

一方、本市の推移は、昭和59年の大きな流行の後、5年ごと(昭和62年、平成4年、平成9年)に流行がみられ、その後、平成12年、13年の小流行以降、流行はみられていません。

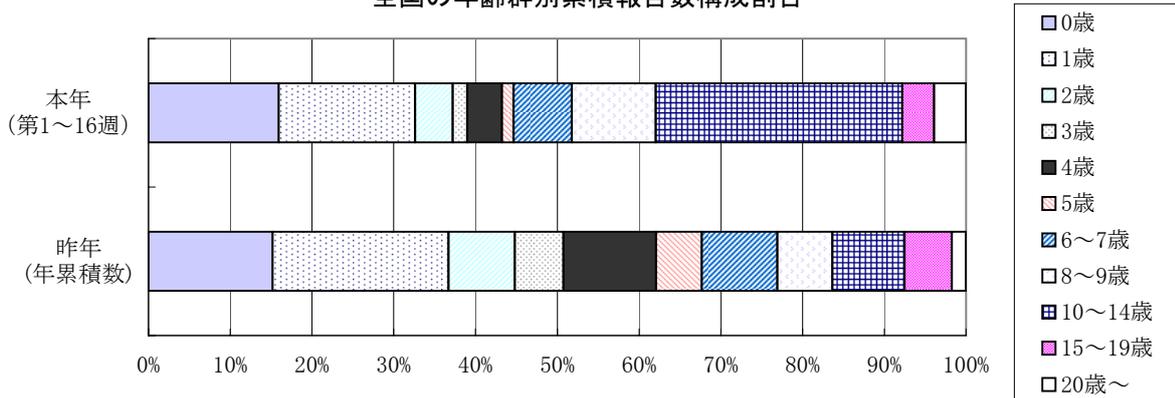
麻しんは飛沫核感染、飛沫感染、接触感染と様々な感染経路を示す疾患であり、感染力が極めて高く、ゴールデンウィークのように、国内の他地域や海外などからの移動人口が飛躍的に増大している時期には感染が拡散する恐れもあります。また、特に10～14歳では、乳幼児に比べその活動範囲が大きいいため、より一層の注意が必要です。

ワクチン接種による予防が効果的であり、京都市では、1歳児と、小学校入学前年度の1年間(4/1～3/31)の児童は、定期接種として麻しん風しん混合(MR)ワクチン(あるいは麻しん単抗原ワクチン)の接種が可能です。詳細については、地域医療課のホームページ(<http://www.city.kyoto.jp/hokenfukushi/iryuu/masin.htm>)に掲載しています。

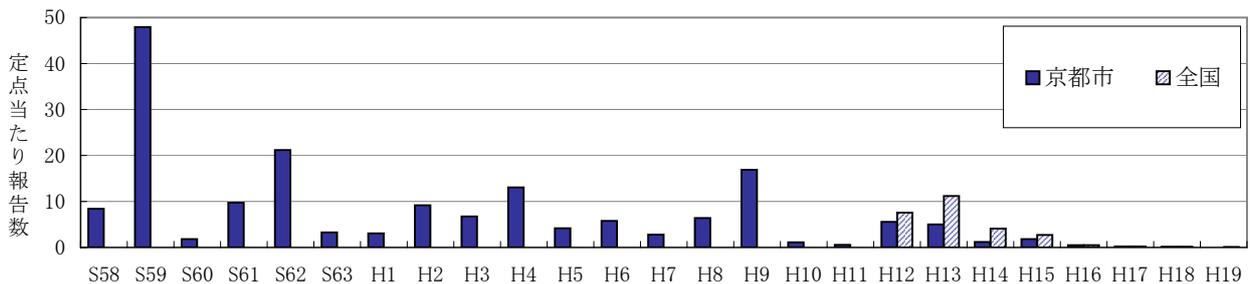
(※) 都道府県別累積報告状況(本年第1週～16週 n=282)



(※) 全国の年齢群別累積報告数構成割合



(※) 年別報告数の推移(京都市:S58～, 全国:H12～)



(※) いずれも成人麻しんを除く。

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第16週

疾病,保健所別報告数

平成19年4月16日～平成19年4月22日

データ入手日:平成19年5月7日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	27	-	-	2	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1						
上京	8	-	-	-	8	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-						
左京	6	-	-	1	13	2	-	-	1	-	-	1	-	1	-	-						
中京	12	-	-	2	37	-	-	-	1	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	9	-	-	-	28	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-						
山科	4	-	-	5	25	4	-	3	2	-	-	-	-	2	-	2						
下京	1	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	22	-	1	7	31	5	2	1	1	1	-	-	-	-	-	-						
右京	3	-	-	-	23	3	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2						
伏見	2	1	2	1	22	1	1	-	-	2	-	-	-	-	-	-						
西京	29	-	-	16	68	4	2	-	6	-	-	-	-	2	-	-						
京都市計	123	1	3	34	259	25	5	5	15	3	-	1	-	9	-	5	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	3.86	-	-	0.50	1.00	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.00						
上京	1.60	-	-	-	2.67	0.67	-	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-						
左京	0.86	-	-	0.25	3.25	0.50	-	-	0.25	-	-	0.25	-	0.25	-	-						
中京	2.40	-	-	0.67	12.33	-	-	-	0.33	-	-	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	3.00	-	-	-	14.00	1.00	-	-	1.00	-	-	-	-	-	-	-						
山科	0.57	-	-	1.25	6.25	1.00	-	0.75	0.50	-	-	-	-	0.50	-	2.00						
下京	0.33	-	-	-	-	0.50	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-						
南	4.40	-	0.33	2.33	10.33	1.67	0.67	0.33	0.33	0.33	-	-	-	-	-	-						
右京	0.38	-	-	-	4.60	0.60	-	-	0.40	-	-	-	-	-	-	2.00						
伏見	0.18	0.14	0.29	0.14	3.14	0.14	0.14	-	-	0.29	-	-	-	-	-	-						
西京	4.14	-	-	4.00	17.00	1.00	0.50	-	1.50	-	-	-	-	0.50	-	-						
京都市計	1.81	0.02	0.07	0.83	6.32	0.61	0.12	0.12	0.37	0.07	-	0.02	-	0.22	-	0.50	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第16週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年4月16日～平成19年4月22日

データ入手日:平成19年5月7日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	123	-	4	6	1	7	3	5	7	6	3	-	7	18	22	12	8	4	7	1	2
RSウイルス感染症	年齢2	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢3	3	-	-	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	34	-	-	4	6	5	4	4	2	2	2	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	259	6	24	57	30	20	21	14	12	11	9	7	21	3	24	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢2	25	-	4	2	6	6	2	2	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	5	-	-	1	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢4	5	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	15	-	12	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢2	3	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢2	9	-	-	1	1	1	2	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢4	5	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	1	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	1.81	-	0.06	0.09	0.01	0.10	0.04	0.07	0.10	0.09	0.04	-	0.10	0.26	0.32	0.18	0.12	0.06	0.10	0.01	0.03
RSウイルス感染症	年齢2	0.02	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱	年齢3	0.07	-	-	0.05	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	年齢4	0.83	-	-	0.10	0.15	0.12	0.10	0.05	0.05	0.05	0.07	-	0.05	-	0.05	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎	年齢1	6.32	0.15	0.59	1.39	0.73	0.49	0.51	0.34	0.29	0.27	0.22	0.17	0.51	0.07	0.59	-	-	-	-	-	-
水痘	年齢2	0.61	-	0.10	0.05	0.15	0.15	0.05	0.05	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病	年齢3	0.12	-	-	0.02	0.07	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	年齢4	0.12	-	-	-	0.02	-	-	0.02	-	0.02	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん	年齢1	0.37	-	0.29	0.07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳	年齢2	0.07	0.02	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	年齢4	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
麻しん(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	年齢2	0.22	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	-	0.02	0.02	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	年齢4	0.50	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-	-	-	-	0.20	-	0.10	0.10	-	-
細菌性髄膜炎(※)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	年齢3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎(※)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第16週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年5月7日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	1,231	1,065	655	279	172	123
RSウイルス感染症	4	-	-	1	-	1
咽頭結膜熱	4	1	4	5	5	3
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	32	17	15	26	34
感染性胃腸炎	213	203	269	225	211	259
水痘	57	62	77	46	41	25
手足口病	12	13	5	4	5	5
伝染性紅斑	5	9	12	4	20	5
突発性発しん	14	12	8	19	11	15
百日咳	1	-	1	-	-	3
風しん	1	-	-	-	1	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	1	1	1
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	14	13	21	10	14	9
急性出血性結膜炎	2	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	5	10	10	9	6	5
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	1,600	1,420	1,079	618	513	488

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	18.10	15.66	9.63	4.10	2.53	1.81
RSウイルス感染症	0.10	-	-	0.02	-	0.02
咽頭結膜熱	0.10	0.02	0.10	0.12	0.12	0.07
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.88	0.78	0.41	0.37	0.63	0.83
感染性胃腸炎	5.20	4.95	6.56	5.49	5.15	6.32
水痘	1.39	1.51	1.88	1.12	1.00	0.61
手足口病	0.29	0.32	0.12	0.10	0.12	0.12
伝染性紅斑	0.12	0.22	0.29	0.10	0.49	0.12
突発性発しん	0.34	0.29	0.20	0.46	0.27	0.37
百日咳	0.02	-	0.02	-	-	0.07
風しん	0.02	-	-	-	0.02	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	0.02	0.02	0.02
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.34	0.32	0.51	0.24	0.34	0.22
急性出血性結膜炎	0.20	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	0.50	1.00	1.00	0.90	0.60	0.50
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	1.00	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	28.61	25.08	20.73	13.05	11.30	11.09

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。